

当社コメント

(敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合 追加調査事前会合の開催)

本日午後、原子力規制委員会の「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合 追加調査事前会合」が開催された。本日の会議は、原子力規制庁及び当社からの説明と、今後の現地調査に向けての有識者からの技術的質問や要請が中心であった。当社からは、今後の現地調査及び審議に向けて、特に以下の3点についてお願いをした。

1. ①将来活動する可能性のある断層等であるか否か（活動年代の判定の問題）、
②一連であるか否か（連続性の判定の問題）、
③調査の追加を求める場合には、どういう理由で調査が必要か（追加調査の必要性の問題）、
については、根拠を具体的に示して科学的、技術的に議論し、判断して頂きたいこと。
2. 活動年代及び連続性に関する判断の基準については、予め具体的に明確に提示して頂きたいこと。
3. 今後の審議に当たっては、具体的な進め方やスケジュールを前広にお示し頂くとともに、当社もその科学的、技術的議論に参加し、十分議論させて頂きたいこと。

当社としては、今後とも有識者による審議及び現地調査に対し真摯に対応する考えであり、有識者におかれては、敷地内破砕帯が「将来活動する可能性のある断層等ではない」ことをご確認して頂きたいと考えている。

以 上